

ボランティア通信 2020. 3 Vol. 239



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 894-3737)
(Fax 891-3340)

ボランティア インタビュー83 西村佐世子さん(虹の会)



ボランティアを始められた
きっかけは

出産のため退職し、3人の娘を育て、子育てが一段落して落ち始めてきたので私的なお稽古会に始めていたのですが、何か社会に関わることができないかと思っていました。そんなとき交野市の文化祭で展示されていた点訳の広報に出会いました。「これだ！」と思い、すぐに虹の会の代表の方に連絡をして入れていただきました。

末娘と一緒にボランティア

翌春に幼稚園に入園するまで末娘を連れて虹の会に参加しました。(その娘が今では交野市の職員として頑張っています)
最初は点字板で一点一点を点字で書いていましたが、次にタイプライター、パソコンで点訳するようになりました。

毎日が点字とのお付き合い

日本ライトハウスでマルチメディア デイジーのボランティアをしています。マルチメディア デイジーとは、視覚障害・学習障害・知的障害などを持つ方たちが利用される電子書籍で、本をスキヤンして、その電子書籍の素になるデータを作成しています。他に、日本ライトハウスの直属ではないのですが、英語の専門点訳もしています。

趣味は点訳とインディアカ、書道にパソコンゲームです。

これからも楽しく

虹の会では、広報の点訳に加え、ご依頼の点訳や、勉強のため「天声人語」など新聞のコラムも点訳しています。ネットにデータをアップして全国の方に利用していただける「サピエ図書館」への活動にも頑張っています。活動日は、毎週金曜日10時〜16時、ボランティアセンターです。
「きょういく(今日行く)」と「きょうよう(今日用)」が有り、毎日が楽しいです！

リーダー会議 (2月25日)

☆会長挨拶

- ・リーダー会議・役員会等のあり方・運営について (1頁参照)
- ・広報紙「なかま」の発行及び配布方法等について (1頁参照)
- ・ゆうゆうバス廃止に関して

☆連絡会より

- ・大阪府市町村ボランティア連絡会 交流研修会について (2頁参照)
- ・交野市施設予約システムについて
- ☆Vセンターから
- ・グループ活動記録について
- ・令和2年度グループメンバー活動確認について
- ・令和2年度依頼書について
- ・令和2年度グループリーダー・サブリーダーの報告
- ・コピー機種変更について
- ・モノクロ10円、フルカラー50円
- ・ボランティアサロンの案内について (2頁参照)
- ・活動室の掃除について

☆各グループから(省略)

- ☆会計研修(リーダー会終了後開催)
- ・助成金の手続き及び予算・決算についての研修
- ・施設予約システムの利用方法についての研修

連絡会活動の効率化にむけて

誰もが活躍できる新たな門出へ

一昨年から取り組んできました連絡会活動の効率化にむけて、各種イベントのあり方や開催時期の検討に加え、今回はリーダー会議や役員会のあり方、広報紙「なかま」の発行等についても検討の結果、令和2年4月から新たな形で進めてまいります。

リーダー会議を隔月開催に

これまで23年間、リーダー会議を毎月開催してきました。大阪府下の各ボランティア連絡会で、このような活動をしている連絡会はまだ、他市町村からは高い評価をいただけてきました。

しかし、ボランティアを取りまく環境は厳しさを増しており、各グループの活性化のため、新年度からリーダー会議の開催を隔月開催とします。具体的には偶数月開催としますが、年度替わりは諸手続きの変更や会計決算等もあつて、3月はリーダー会議を開催しますので、年間7回の会議となります。これに伴い役員会も毎月開催から隔月開催に移行しますが、緊急を要する問題等が生じた際は弾力的な運営に努めます。

活動の効率化をすることにより、

ボランティア活動の時間の確保や、連絡会の門戸を広げることになり、新たな団体加入の可能性が増えます。連絡会の縮小ではなく、誰もが活躍できる連絡会の新たな門出となります。

広報紙「なかま」は季刊発行へ

広報紙「なかま」が月刊紙になって20数年を経て通巻239号に達しています。「なかま」の発行については編集委員会を構成して作業をしています。新たな視点で広報紙のあり方を早急に検討します。

次年度からは季刊紙として年4回の発行に移行し、装いも新たに、ボランティアの身近な広報紙として親しまれる内容を目指します。

後編
集記

三月は旅立ちの季節ですね。卒業、転勤等で一人暮らしを始められる方も多いと思いますが、私もこの年齢(77才)になって、生まれて初めての「一人暮らし」を始めました。訪ねて来た長男が「寂しくないか?」と問いましたが、私は「寂しくない。気楽になった」と答えました。部屋は1K。後のことを考えると「断捨離」「身辺整理」を実行するチャンスと、自分が使う食器を一つずつ。料理用の鍋も大小各一つだけ。子や孫が来た時のために紙コップ等を用意しておく。食器棚や本箱も、固定電話や新聞も不要。生活をスリム化したら体重も軽くなりました(笑)。でも体調が悪くなるとゾッとします。子どもたちに頼らないと決めて、ここに来たのにと不安がよぎります。身体を求めるままに「寝る」「食べる」と、いつの間にか元気が回復しています。生きる逞しさに感謝!

私のせめてもの「子ども孝行」は「子どもたちに迷惑をかけない」とだと考えています。あとは「終活」ですが、今日も明日もボランティアで元気を頂きながら自然体で過ごしたく思います。(ライム)

また「なかま」の製作についてお手伝い頂けるボランティアを新たに募集します。活動は「なかま」7月号からとします。

- ◎紙面作りや文章作成の好きな方
- ◎パソコン入力ができる方
- ◎写真撮影が好きな方
- ◎インタビューがお得意な方
- ◎「なかま」の仕訳・配布作業など等々、どれか一つでもお手伝い頂ける方は、4月6日までにボランティアセンターまで一報ください。

各イベントも実行委員中心で

その他、各種イベントにおける実行委員会の運営についても、実行委員が中心に企画・運営に携わっていただく方向で進めていきます。

新年度から変わります

リーダー会議の開催月
4・6・8・10・12・2・3月
「第4火曜日 10時〜」

ボランティア通信「なかま」
発行：4・7・10・1月の年4回
4月は6日(月)発行予定
7月以降の発行日 ~検討中~

大阪府市町村ボランティア連絡会研修交流会

幅広い交流ができました

2月5日、大阪府市町村ボランティア連絡会研修交流会が開催され、高石市「町の便利屋さん」・藤井寺市「NICE！藤井寺バンド」の2市が活動発表。



NICE藤井寺バンドの演奏に沸きました

高石市の町の便利屋さん(有償)がどのようなシステムで活動しているか、どんな依頼が多いか、課題なども発表して頂きました。依頼を受ける際にプロでないことを最初に宣言され、「お互いさま...」のこころを忘れずに活動され、感謝されることが生き甲斐になり、支援することで規則正しい生活をするメリハリになったり、身

体を動かすことで健康に気を遣うようになるなど、ボランティアが続けていくことは素敵なことだった。また体験コーナーもあり、認知症ボランティアグループの歌体操

体験(摂津市)や泉大津市の手作りコースターなど、また展示コーナーでは手作り介護用品、ぐるぐるアート(羽曳野市)の展示などを数多く楽しみました。グループワークでは、他の市町村がイベントなどを社協と共催で行って盛り上がっているなどのお話をたくさん聴くことができました。(Y記)



メンズボランティア座談会開催!

令和2年度ボランティアセンターは男性ボランティアの活躍に力をいれていきます。令和2年度最初のボランティアサロンは登録男性ボランティアの皆さんと活動の現状や困っていること、新しい仲間づくりの提案などいろいろな話で盛り上がりましょう。

- ◎とき：4月6日(月) 13:30~15:00
- ◎場所：ボランティアセンター2階活動室
- ◎対象：ボランティアセンター登録男性ボランティア(グループ所属・個人)
- ◎申し込み：ボランティアセンター

当日参加も大歓迎です

第26回バリアフリー展2020

「介護・福祉」、「慢性期医療・高齢者医療」、「看護・訪問看護」、「在宅医療」の総合見本市です

4月16日(木)~18日(土)
10時~17時

会場 インテックス大阪
(ニュートラム：中ふ頭下車)
入場無料<<事前登録制>>

- ◎高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展
- ◎超高齢社会を支える慢性期医療の専門展
- ◎看護サービスの新しいステージを目指す専門展
- ◎地域包括ケアシステムにおける在宅医療の専門展

主催 社会福祉法人・大阪府社会福祉協議会/テレビ大阪/テレビ大阪エクスプロ
共催 一般財団法人・大阪府地域福祉推進財団

朗読グループ「あい」音訳ボランティア養成講座に参加しませんか



3人1組で録音をしています

「あい」は、音訳ボランティアです。目の不自由な方、通常の活字による読書ができない方のために、音声により情報をお届けしています。「声の広報かたの」を市からの委託により、音訳CDにしています。(議会だより・社協だより「ふれあい」・わが家の健康管理など)パソコンやスマホで聞くことができます。

定例会は毎月第一水曜日、午前10時30分から開催しています。

追悼復刊 中村 哲著

「アフガニスタンの診療所から」

昨年12月4日、アフガニスタンで凶弾にたおれた医師中村哲氏の著書「アフガニスタンの診療所から」が筑摩書房から15年の歳月を経て1月に復刊された。

戦乱の地で、貧困、内乱、難民、人口・環境問題、宗教対立等に悩むアフガニスタンとパキスタンで、ハンセン病治療に全力を尽す中村医師の苦悩と真の支援とは、国際協力とは何かを語りかけてくる。

人が人である限り、失ってならぬものを守る限り、破局を恐れて「不安の運動」に惑わされる必要はない。人が守らねばならぬものは、そう多くはない。そして、人間の希望は観念の中で捏造できるものではないと...

本書によってアフガニスタンの状況だけでなく、私たち自身の姿を顧みる機会になる良書である。是非ご一読されることを薦めたい。(S記)

レッスンには毎月講師を迎えて学習しています。

その他に、地域から希望があれば朗読会を開催したり、視覚障がい者への理解を深める活動をしています。

「あい」は発足から26年。先輩から読み方や録音の仕方を教わりながら、チームで協力して活動をすすめ、仲間とのつながりを深めています。

2020年度は「音訳ボランティア養成講座」を開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

音訳ボランティアをしてみませんか!

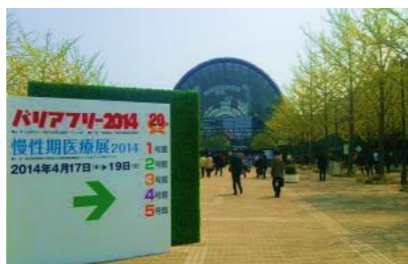
新型コロナウイルス 感染による対応について

全国的に拡がりを見せる新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大阪府からの要請に基づき、交野市でも各種イベントの中止、延期という対応がとられました。社会福祉協議会でも同様の動きの中で、各ボランティアの活動に万全を期すことになりました。当面3月末を目途に一部活動を自粛します。その後については状況を見て対応してまいります。

ボランティアの皆様のご理解とご協力をお願いします。

バリアフリー展へのお誘い

4月16日から18日、インテックス大阪で開催される2020バリアフリー展に行きませんか。行きたいけれど行き方がわからない、一緒に行く人がいない等、と思っている方。左記要領で行きます。同行して下さる方はご一報ください。グループの枠を超えて、団体で申し込みます。



日時 4月17日(金)
集合 JR河内磐船駅
8時50分集合

交通費・食費 各自負担

参加者 20名程度(先着順)

申込み 3月13日(金)までに

V連絡会Eメールまたは

ボランティアセンターまで

※参加者には詳細を追って連絡します。

「かざぐるま」栗原